



大野市教育委員会たより

令和元年7月11日発行 第9号

発行 大野市教育委員会教育総務課
〒912-0086 大野市天神町 1-1
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。

そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思ひます。ご理解とご協力をお願いいたします。

つきましては、先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：7月4日（木）午後7時～9時

次第 ・教育長挨拶

場 所：下庄小学校体育館

・1部 説明「大野市の教育について」

対象者：下庄小学校保護者（出席者16人）

・2部 意見交換「大野市の教育環境について」

※以下は、「2部 意見交換」で保護者の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※保護者からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

- ◎意見交換会で何を聞きたいのか分からない。いつごろ学校を再編をするのか。自分たちに関係あるのか。
 - ⇒ ■再編計画の見直し（案）を作る前に、保護者の意見を聞きたいために意見交換を行っている。再編を少しずつすべきとか、10年後に延ばすべきとか、校数の考え方を聞かせてもらえればと思っている。
 - ⇒ ◎再編計画がなくなるのは決定なのか。
 - ⇒ ■現在の計画は令和5年に中学校1校、令和8年に小学校2校とする内容である。この計画に対して、市長から再編校数や再編時期、方法について見直しの考えが示され、教育委員会で計画の見直しを決定した。
- ◎子どもの人数が少なくなっていくから、再編計画が出たと思う。昔と比べて今の子どもは違う。自分で進んでやるのではなく、与えられないと出来ない。少人数だから出来るのであり、先生の目が行き届かなくなると出来ない。1クラス40人にしてしまうのはどうかと思う。
 - ⇒ ◎1クラスの人数はあまり関係ないと思う。人とのコミュニケーションは、学校や友だちで培うものであるが、基本は保護者が示すべきと常に思っている。
- ◎市ホームページで意見交換会の内容を見たが、地元で学校がなくなると考えている地域は熱心である。和泉小が再編された場合、冬期間の通学では道が雪崩などで危ない。冬期間だけ分校にするなど、子どもの安全を考えてほしい。学校再編は仕方がないと思っている。
 - ⇒ ■子どものことを優先的に考えて進めていきたい。
- ◎2年半前の再編計画での説明やパブコメでは、計画に対する質問に対して答えにならなかった。乾側小が下庄小に再編する話があったが、出来る所からなぜ再編をしないのか。
 - ⇒ ■そのような経緯も踏まえ、意見をお聞きしているので理解してほしい。再編に関係する当事者である保護者としては、非常に迷う決断であると考えている。教育委員会としては、慎重に丁寧に着実に進めていきたい。
 - ⇒ ◎2年半前は、意見を言ってもすべて検討中であった。見直し（案）では、再編する学校の場所やバスの運行などを明確にしてほしい。共働きが多いため、祖父母に子どもの送迎をお願いする場面がある。
- ◎中学校1校、小学校2校は少ないと思った。中学校2校、小学校3校ぐらいかと思っている。地理的問題もあるし、雪の問題もある。
- ◎再編計画のモデルケースはあるのか。まちづくりが成功するのか。
 - ⇒ ■大野として誇れる教育、特化した教育をした方がいいという意見がこれまでもあった。当初の計画における目指す学校のイメージはあったと考えている。今後は、具体的な案を示せるように努力する。その案を示す前の段階として、現在意見交換を行っている。
 - ⇒ ◎大野を出た時に、大野出身であるという誇りを持てる教育をしてほしい。そうすれば県外に出た時に自信を持てると思う。いずれ、大野が好きで戻ってくる。バス通学は部活動の時間などが制限されるためハンディである。部活の練習をしたくても切り上げないといけなかった。ハンディをなくす方法を検討してほしい。再編計画を立てる時に、大人数でないと出来ないこともあるので、良い面、悪い面の両面を示すことが必要である。
 - ⇒ ■大野では「ふるさと教育」に力を入れている。学校だけでなく地域と一緒に活動をしている。そのような

活動を通じて、大野の良さを感じられるようにしている。

- ◎市内に対戦するチームがないのは寂しい。競い合うことで自信がつくため、中学校1校はどうかと思う。
⇒ ◎自分の時代もライバル校があって成長した経験がある。競い合う学校は必要だと思う。
- ◎小学校が2校になった場合、児童館はどうなるのか。
⇒ ■児童センターは市内に4つある。現在は再編や廃止の計画はない。郊外の学校では公民館や旧幼稚園などを利用して放課後子ども教室を運営し、保護者の迎えがあるまで、そこで学習や遊びをして過ごしている。再編計画では、スクールバスで放課後子ども教室まで送迎することを説明している。
- ◎中学校を1校にするとライバルがなくなるので、中学校2校、小学校2校にした方がいいと思う。そうすれば、小学校全員がそのまま中学校に行ける。市内で練習試合や対抗意識があると良いと思う。
⇒ ■楽しみながら、適度な競争を意欲を持ってやることは、子どもにとって必要だと考える。
- ◎中学校2校、小学校3校かと思っている。通学が問題である。自分は市外に仕事へ行っており、高齢の親に子どもの送迎をお願いすることは、最近の高齢者の車の事故が多いことを考えると不安である。
⇒ ■5月開催の教育シンポジウムで実施したアンケート結果でも、再編で不安なことの中で一番多かったのが「通学距離」であった。
⇒ ◎中学校が減り、部活などで対戦する学校がなくなると、遠征に行く回数が増えるので保護者の負担が大きくなると思う。
- ◎再編する場合、学校の位置が問題となる。中学校は2校あった方がいい。新しく建てるのであれば、候補地を事前に説明した方がいい。
⇒ ■出来る限り、情報を公開していきたい。
- ◎何校にしていくかの案はないが、複式学級の問題を解消するような再編をした方がいいと思う。下庄小の今の環境がちょうど良く守っていききたい。自分が家を建てる時、近くに保育園や小中学校があるかを基準に選んだ。大野に来て感じたことは、地域の子どもは地域で守ることをすごく感じている。再編で地域に学校がなくなることや不安を感じている人は多いと思う。再編を一気に行うのは乱暴である。
- ◎学校に通えない子どもたちに対する環境整備や学校の取組みを考えてほしい。
- ◎自分は、集団登校をしながら、上の学年の子どもたちから交通マナーなどを学んだ。スクールバスで通うようになると、交通マナーを学ばなくなったり、体力がなくなったり、外で遊んだりしなくなると思う。自然があるのに、教育に生かしていない気がするし、校外学習が減っている感じがする。
⇒ ■学校としての校外学習はやっていると思う。しかし、外国語教育が始まり教科が増えている中、子どもの負担を減らすために行事の見直しを若干行っている点はある。他の市町は、保護者からお金を徴収して行っているが、大野はスクールバスを校外学習に利用しているので、比較的校外学習は多く行えている。帰宅してからの遊びは減っていると感じている。休み時間や昼休みは、たった10分でも外へ遊びに出ているが、それは友だちがいるからである。子どもの本質は変わっていない。変わったのは環境で、塾やスポ少などで自由な時間が制限されている。
- ◎これまで反対意見がクローズアップされていて、再編自体に反対が多いと思っていたが、学校再編に対して寄り添う意見があり、反対ばかりではないと感じた。すべての意見を取り入れるのは難しい。市外出身の方が、大野の良いところや再編すべきことをはっきり言ってくれている。このような意見がこれまで入って来なかった。部活については、市が教育の一環として割り切るのであれば、中学校対抗にする必要があるのかと思う。競い合いたいのであれば、クラブチームに任せるなど、部活をどう捉えるかを示した方がいい。バスについては、下庄小の子どもも使っている。自分の子どもはぎりぎりバス通学ではないが、冬などの通学は心配で、バス通学にするためにはどのように声を上げればいいのか分からない。
⇒ ■下庄校区も広いので、通学は課題であると思う。冬になった場合は、バスを増便する方法も検討する必要がある。クリアしないといけない課題はたくさんある。見直し(案)を作成した際には、抜け落ちている課題をお聞きするようしていきたい。



お仕事等でお忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。